

| 平成25年行政事業レビューシート (復興庁)     |  |          |                 |                                |      |           |  |  |
|----------------------------|--|----------|-----------------|--------------------------------|------|-----------|--|--|
| 事業名                        | 東北復興のためのクリーンエネルギー研究開発推進  |          | 担当部局庁           | 復興庁                            |      | 作成責任者     |  |  |
| 事業開始・終了(予定)年度              | 平成24年度～平成28年度  |          | 担当課室            | 統括官付参事官(予算・会計担当)               |      | 参事官 大野 秀敏 |  |  |
| 会計区分                       | 東日本大震災復興特別会計   |          | 政策・施策名          | 復興施策の推進<br>東日本大震災からの復興に係る施策の推進 |      |           |  |  |
| 根拠法令<br>(具体的な<br>条項も記載)    | -  |          | 関係する計画、通知等      | -                              |      |           |  |  |
| 事業の目的<br>(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)に基づき、東日本大震災により被災した東北の復興と、東北の潜在力を活かした技術革新による日本全体の再生を目指し、東北の風土・地域性等を考慮し、将来的に事業化・実用化され、新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の研究開発を実施する。  |          |                 |                                |      |           |  |  |
| 事業概要<br>(5行程度以内。別添可)       | ①被災地へのスマートエネルギーシステムの導入や環境先進地域としての復興、②再生可能エネルギーに関する革新的研究開発を実現し、東北地方の復興と我が国のエネルギー問題を克服するため、被災地自治体の参画のもと、東北大学を中心とした大学等研究機関において、仙台市の下水処理場における微細藻類のエネルギー利用等の先進的なエネルギー技術の研究開発を推進する。  |          |                 |                                |      |           |  |  |
| 実施方法                       | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 |          |                 |                                |      |           |  |  |
| 予算額・執行額<br>(単位:百万円)        |  |          | 22年度            | 23年度                           | 24年度 | 25年度      | 26年度要求   |  |
|                            | 予算<br>の<br>状<br>況  | 当初予算     |                 |                                | 814  | 814       | 814  |  |
|                            |  | 補正予算     |                 |                                | -    | -         |  |  |
|                            |  | 繰越し等     |                 |                                | -    | -         |  |  |
|                            | 計  |          |                 |                                | 814  | 814       | 814  |  |
|                            | 執行額  |          |                 |                                | 814  |           |  |  |
| 執行率(%)                     |  |          |                 | 100.0%                         |      |           |  |  |
| 成果目標及び成果実績<br>(アウトカム)      | 成果指標   |          |                 | 単位                             | 22年度 | 23年度      | 24年度   | 目標値<br>(28年度以降)                            |
|                            | 被災地域が新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の創出   |          | 成果実績            |                                |      |           | 公募を実施し、東北大学を中心とした被災地自治体が参画するコンソーシアムの提案課題を採択し、研究開発を開始 | 被災地域が新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の創出 |
|                            | ※本事業は、被災地自治体のニーズを踏まえ、発電機器等の開発や新たなシステムを構築し、その実証をまちづくりと連動して実施することで復興へ貢献することを目標としていることから、定量的な成果指標の設定は馴染まない。   |          | 達成度             | %                              |      |           | -  |  |
| 活動指標及び活動実績<br>(アウトプット)     | 活動指標   |          |                 | 単位                             | 22年度 | 23年度      | 24年度   | 25年度活動見込                                   |
|                            | 研究開発課題数  |          | 活動実績<br>(当初見込み) |                                |      | ( )       | ( 3 )  | ( 3 )                                      |
| 単位当たりコスト                   | 271百万円(円/研究開発課題)   |          | 算出根拠            | 平成24年度予算額(814百万円)÷研究開発課題数(3課題) |      |           |  |  |
| 平成25・26年度予算内訳              | 費目   | 25年度当初予算 | 26年度要求          | 主な増減理由                         |      |           |  |  |
|                            | 科学技術振興謝金   | 0.1百万円   | 0.1百万円          |                                |      |           |  |  |
|                            | 科学技術振興職員旅費   | 0.3百万円   | 0.3百万円          |                                |      |           |  |  |
|                            | 科学技術振興委員等旅費  | 0.1百万円   | 0.1百万円          |                                |      |           |  |  |
|                            | 科学技術振興庁費   | 0.1百万円   | 0.1百万円          |                                |      |           |  |  |
|                            | 環境技術等研究開発推進事業費補助金  | 813.4百万円 | 813.5百万円        |                                |      |           |  |  |
|                            | 計  | 814百万円   | 814百万円          | ※表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計は一致しない。   |      |           |  |  |

| 事業所管部局による点検                                      |  |                                 |   |        |                        |
|--|--|---------------------------------|---|--------|------------------------|
|  | 項目   | 評価                              | 評価に関する説明  |        |                        |
| 国費投入の必要性   | 広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。  | ○                               | 東日本大震災からの復興の基本方針に基づき、被災地域の環境先進地域としての復興を実現するため、被災自治体の参画を得て、東北の風土・特性を踏まえた再生可能エネルギーに関する技術開発を実施する事業であり、復興に加え我が国のエネルギー問題克服にも貢献することから、国が実施すべき優先度の高い事業である。   |        |                        |
|  | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。   | ○                               |   |        |                        |
|  | 明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。   | ○                               |   |        |                        |
| 事業の効率性   | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。   | ○                               | 事業を実施する研究機関は、外部有識者により構成される公募審査会を経て、委託先も含めて、選定されており、競争性は確保されている。<br>書面及び現地での調査により、資金が適切に執行されていること、単位当たりのコスト水準が妥当であることを確認している。  |        |                        |
|  | 受益者との負担関係は妥当であるか。  | ○                               |   |        |                        |
|  | 単位当たりコストの水準は妥当か。   | ○                               |   |        |                        |
|  | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。  | ○                               |   |        |                        |
|  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。   | ○                               |   |        |                        |
| 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                     | —  |                                 |   |        |                        |
| 事業の有効性   | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。   | ○                               | 事業を効果的かつ効率的に実施するため、研究機関のみならず参画自治体も出席の下で外部有識者から構成される成果報告会等を実施し、事業推進に関する検討、助言等を行っており、実効性の高い事業となっている。<br>当初計画通り、研究に必要な設備整備を進めており、活動実績は見込みにあったものである。  |        |                        |
|  | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。   | ○                               |   |        |                        |
|  | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。   | —                               |   |        |                        |
| 重複排除   | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。<br>(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)  | ○                               | (微細藻類のエネルギー利用等について)<br>・文部科学省では長期的な取組が必要な次世代の微細藻類の利用技術についての基礎研究を実施。<br>・農水省では農産漁村地域におけるエネルギーの地産地消を進めるため、微細藻類の国内での栽培を目指した培養等の研究開発を実施。<br>・経済産業省では大規模かつ工業的に微細藻類を利用した燃料を生産するための技術についての研究開発を実施。 |        |                        |
|  | 事業番号   | 類似事業名                           |   |        | 所管府省・部局名               |
|  |  | 農山漁村におけるバイオ燃料等生産基地創造のための技術開発    |   |        | 農林水産省技術会議事務局研究開発官(環境)室 |
|  | 戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業   | 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課 |   |        |                        |
| 点検結果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地域の環境先進地域としての復興を実現することを目的として、東日本大震災からの復興の基本方針に基づき実施するものであり、必要性が高い事業である。</li> <li>事業を効果的かつ効率的に実施するため、研究機関のみならず参画自治体も出席の下で外部有識者からなる成果報告会等を実施し、事業推進に関する検討、助言等を行っており、実効性の高い事業となっている。</li> <li>当初計画通り、研究に必要な設備整備を進めており、活動実績は見込みにあったものである。</li> </ul> |                                 |   |        |                        |
| 外部有識者の所見   |  |                                 |   |        |                        |
| 引き続き被災自治体等のニーズを的確に把握しつつ、着実かつ効率的・効果的な事業の実施に努めること。 |  |                                 |   |        |                        |
| 行政事業レビュー推進チームの所見                                 |  |                                 |   |        |                        |
| 現状通り   | 被災地における産業振興と新たな雇用創出の観点から、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。   |                                 |   |        |                        |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況                          |  |                                 |   |        |                        |
| 現状通り   | 事業の目的である、被災地を環境先進地域としての復興させるとともに、再生可能エネルギーに関する革新的研究開発を実現し、東北地方の復興と我が国のエネルギー問題を克服する目的の達成に向け、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。  |                                 |   |        |                        |
| 備考   |  |                                 |   |        |                        |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号                              |  |                                 |   |        |                        |
| 平成22年  |  | 平成23年                           | 平成24年   | 24新-15 |                        |

※平成24年度実績を記入。

復興庁  
814百万円

〔文部科学省へ移替え〕



文部科学省  
814百万円

〔新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の研究開発事業に必要な金額を補助する。〕

諸謝金 : 0.1百万円  
職員旅費 : 0.3百万円  
委員等旅費 : 0.1百万円  
庁費 : 0.1百万円

を含む

【公募・補助】



A.  
東北大学  
814百万円

〔新たな環境先進地域として発展することに貢献する再生可能エネルギー技術の研究開発を実施する。〕

【公募・委託】



B.  
大学等研究機関  
(全7機関)  
476百万円

〔参画機関として、担当部分の研究を実施。〕

※文部科学省において、初年度に委託先も含めて公募選定を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

| A.東北大学 |                                  |              | E. |     |              |
|--------|----------------------------------|--------------|----|-----|--------------|
| 費目     | 使 途                              | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
| 委託費    | 参画機関への研究の委託費                     | 476          |    |     |              |
| 試作品費   | EMS連携太陽光発電システムほか                 | 112          |    |     |              |
| 設備備品費  | オイル抽出装置、解析装置ほか                   | 90           |    |     |              |
| 事業実施費  | 消耗品費                             | 56           |    |     |              |
|        | 雑役務費、借損料、印刷製本費、通信運搬費、会議費、諸謝金ほか   | 24           |    |     |              |
|        | 外国旅費・外国人等招へい旅費                   | 9            |    |     |              |
|        | 国内旅費                             | 4            |    |     |              |
| 人件費    | 准教授、助手ほか                         | 43           |    |     |              |
| 計      |                                  | 814          | 計  |     | 0            |
| B.東京大学 |                                  |              | F. |     |              |
| 費目     | 使 途                              | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
| 試作品費   | 水車性能試験装置、潮流発電装置のフルスケール陸上ベンチ試験機ほか | 168          |    |     |              |
| 事業実施費  | 雑役務費                             | 24           |    |     |              |
|        | 印刷製本費、通信運搬費、会議費、諸謝金ほか            | 7            |    |     |              |
|        | 国内旅費                             | 3            |    |     |              |
|        | 外国旅費・外国人等招へい旅費                   | 2            |    |     |              |
|        | 消耗品費                             | 2            |    |     |              |
| 設備備品費  | 波浪観測用マイクロ波レーダ、波浪情報解析装置ほか         | 14           |    |     |              |
| 人件費    | 特任教授、技術補佐員                       | 5            |    |     |              |
| 計      |                                  | 225          | 計  |     | 0            |
| C.     |                                  |              | G. |     |              |
| 費目     | 使 途                              | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
| 計      |                                  | 0            | 計  |     | 0            |
| D.     |                                  |              | H. |     |              |
| 費目     | 使 途                              | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
|        |                                  |              |    |     |              |
| 計      |                                  | 0            | 計  |     | 0            |

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

|   | 支出先  | 業務概要  | 支出額<br>(百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|------|---|--------------|------|-----|
| 1 | 東北大学 | 東北復興を目指した海洋・微細藻類等の次世代エネルギーと移動体を含むエネルギー管理システムの研究開発 | 814          | 企画競争 | —   |

※補助事業

B.

|   | 支出先    | 業務概要                           | 支出額<br>(百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------|--------------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 東京大学   | 三陸沿岸へ導入可能な波力等の海洋再生可能エネルギーの研究開発 | 225          | 随意契約 | —   |
| 2 | 東京大学   | エネルギーモビリティマネジメントシステムの研究開発      | 118          | 随意契約 | —   |
| 3 | 筑波大学   | 微細藻類のエネルギー利用に関する研究開発           | 80           | 随意契約 | —   |
| 4 | 石巻専修大学 | EMS制御微細藻バイオマス生産システムの研究開発       | 25           | 随意契約 | —   |
| 5 | 石巻専修大学 | エネルギー&モビリティ統合インターフェースの研究開発     | 24           | 随意契約 | —   |
| 6 | 秋田県立大学 | ルーメンハイブリットメタン発酵の開発(遺伝子解析等)     | 2            | 随意契約 | —   |
| 7 | 岩手大学   | ルーメンハイブリットメタン発酵の開発             | 2            | 随意契約 | —   |